



赤谷湖を望む大露天風呂、 硫酸塩泉掛け流し

(株)猿ヶ京ホテル

代表取締役 持谷 明宏 氏(沼田支部所属)



Q & A

▼持谷さんで何代目ですか？

私で三代目になります。目の前で見える赤谷湖の底には、もともと四軒の旅館がありました。その内の一軒だった「桑原館」が当ホテルの前身です。祖母が昭和二十二年に東京から引越してきて持谷家として旅館業を始めました。

その後、相俣ダムの建設が決まり、昭和三十三年に現在の場所へ移転しました。昭和四十七年に木造から鉄筋コンクリートへと建てかえ、増改築を繰り返しながら現在に至っています。私は金融機関に三年間勤めた後、平成四年に入社、平成二十



年に代表取締役役に就任しました。

▼入社当時の思い出は？

両親の体調が優れず、遠回しに戻ってくるように仕向けられたと言っでしようか(笑)。それまでは正直言って、親も私も先々のことは真剣に話してきませんでした。むしろ、帰ってきてからエンジンがかかった感じでした。

息子とはいえ父にとつてはライバルで、議論していると「お前なんかには負けるか！」と面と向かって言われたり…。母も然りで、私との関係で来たお客様であっても女将として母に紹介しないと怒られたりしました。今思えば私が入ってからそんな毎日が、逆に両親を元気にしたと思うので良かったと思っています。

▼猿ヶ京ホテルと云えば、豆腐懐石、民話の語り、大露天風呂など、いくつもの特色を兼ね備えています。イチオシは？

ありがとうございます。いま私が一番押したいのは、やはり温泉そのものです。

もし赤谷湖の底に沈まなかったら、マスコミが良く取り上げるような、昔ながらの源泉を守る



り続ける正統的な温泉旅館として持て囃されていたかも知れないと思っています。

源泉の湯量は毎分六〇〇リットルと比較的豊富で、温度も平均五五度あります。泉質はカルシウム・ナトリウム、硫酸塩泉で、高血圧、動脈硬化症、リュウマチ性疾患、痛風、創傷などに効きます。また、当館でも大浴場の入り口に飲泉所が設けられています。様々な飲用の効能もあるといわれています。

赤谷湖を見下ろせる当館自慢の広々とした露天風呂は、昭和四十五年に庭づくりに凝っていた祖父が地元の造園業者に造らせたものです。それゆえ日本庭園の中の池がそのまま露天風呂になった感じ。ぜひ景色といっしょに入浴を楽しんでいただきたいと思っています。

▼せっかくなので「豆腐懐石」と「民話の語り」もご紹介を！

自家製豆腐を使った豆腐懐石は、郷土色のある料理を提供したいと平成元年に始めました。今でこそ地産地消が叫ばれますが、もともと利根沼田が大豆の一大産地だったことに由来しています。特に豆腐三珍、六珍は皆様に喜んでいただいています。大女将による民話の語りは、每晚八時から行われています。前橋から嫁いだ母が地元のお婆さん達に聞いた民話を書き留めるようになったのがきっかけで、昭和六十年頃から始まり、今では当館の名物にもなっています。

▼今後の抱負を一言

ホテルとしての特色を更に進化させていきたいと思っています。同時に温泉地全体の活性化に貢献していきたいです。

猿ヶ京温泉は現在、旅館・ホテル、民宿など二十六軒あります。全体に温泉が行き渡っていることも特徴の一つだと思います。もともと、いい温泉だということを広くPRしていかねばなりません。

所在地/利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉1171
連絡先/TEL 0278-66-1101